

鉄道研究会の本懐を遂げる

鉄道の写真館

かずたろう

Vol. 5 列車を迎えて



福知山線 武田尾一道場 1986,7,31 撮影

鉄道写真は難しい、とつくづく思う。相手は動いている物体であり、定められた時間にしかやってこない。VOL.4 で述べたようにやって来た列車に応じて、構図やシャッターを押すポイントを変えなくてはならない。適正な露出や構図といった、どのジャンルの写真にも共通して必要なことを満たした上で、「勝負は一瞬しかない」という制限が付くのだ。

撮影ポイントに着いたら、やって来る列車の情報（列車名や進行方向、編成など）を確認し、様々な状況に対応できるようにシミュレートする。カメラやレンズのチェックをする。何度も何度もピントを合わせ、露出や構図のチェックをする。万全の体制で列車を迎える。それでも……列車がやってきたときにかぎって急に曇ったりして。う～ん。地方によっては日に数本しか列車が来ないところもあったりして。もう堪りませんな。

今回の写真は、その逆です。曇り空で諦めかけてたところ、列車とともに、陽射しがやってきました。自然のスポットライトです。